

第九十三回フォト句優秀作品（31年3月11日）



Jリーグ正面スタンド  
超満員（アキヤ）

柿色に染まる大河や

春の暮（昌康）





束の間を千年樟の  
根に託す (晃二)



行き暮れて  
犬も傘欲し  
牡丹雪 (由紀子)

寸 評：今月の入選作品は縦長の画像ばかりだった。

1) Jリーグ正面スタンド超満員 中村 晃也

少子化のためか不要になった雛人形が公民館に集められ何段にも保存されている。今人気のJリーグの試合に想到した点に発想の転換がみられる。

2) 柿色に染まる大河や春の暮 松田 昌康

美しい夕日が川面に映えている。柿色に染まる大河という措辞も春の暮れという季語も上手く嵌ってよい作品に仕上がった。

3) 束の間を千年樟の根に任す 安藤 晃二

樟の巨木に寄生した南天の木を取り上げた作品。千年単位で見れば南天の寿命は束の間かも知れない。

4) 行き暮れて犬も傘欲し牡丹雪 新田 由紀子

画像をよく見て欲しい。掘割に面した古い建物の前を、傘を持った人と犬が歩いている場面である。周囲には粉雪が舞い前方には夕日が輝いている。こんなレトロな風景は滅多に撮れるものではない。実は川瀬巴水の版画の絵葉書（昭和10年）を撮ったもの。ペンフォト句会としては、この種の作品は好ましくないという意見が多かった。



今月中村さんの出題。ロシアのエカテリーナ宮殿前の風景。

1) 法螺吹きと喇叭吹きとが息合わせ 三 春

巧みな語呂合わせでユーモアがある。

2) ウオッカに頼り奏でる冬の朝 大越 浩平

いかにも寒そうな風情だ。

3) 給料遅配赤軍兵士のアルバイト 中村 晃也

食い詰めているような体格には見えないが。

4) 大法螺でイワン四島奪い取り 池田 隆

北方四島問題の雲行きは予断をゆるさない。